

<p>(問3)</p> <p>「介護予防事業」の実施状況(実績)について記入して下さい。</p> <p>※貴市町村での実施状況(実績)をまとめた資料があれば添付して下さい。</p>	<p>記入項目例：事業名、事業費</p> <p>年間実施回数 年間利用者数(実人数、延べ人数)</p> <p>※1年未満の事業の実施回数、利用者数については、実施期間内での実績を記入して下さい。</p> <p>自立支援会議の実績</p> <table border="0"> <tr> <td>平成12年度</td> <td>24回</td> <td>年間延利用者数</td> <td>375件</td> </tr> <tr> <td>平成13年度</td> <td>25回</td> <td>年間延利用者数</td> <td>548件</td> </tr> </table> <p>(4~12月)</p>	平成12年度	24回	年間延利用者数	375件	平成13年度	25回	年間延利用者数	548件
平成12年度	24回	年間延利用者数	375件						
平成13年度	25回	年間延利用者数	548件						
<p>(問4)</p> <p>現在実施している「介護予防事業」の実施状況を見て、うまくいっていると感じられるのはどのような点ですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の報告で、サービスを受けて元気になった事例が目立つこと ・自立支援会議の場で、自立支援計画を総合的、専門的な視点で検討することで、コーディネーターが安心して区民対応ができるようになっている ・このシステムにより、担当者が介護予防の視点をもってサービスを提供しているため、利用件数が上がっている ・統一の質問票・評価票を使用したことで、共通のものさしで検討ができる 								
<p>(問5)</p> <p>うまく事業をすすめるために工夫している点などがあれば記入して下さい。</p>	<p>基幹型在宅介護支援センターと地域型在宅介護支援センターとの連携を密に、相談しやすい環境作りに努める。</p>								
<p>(問6)</p> <p>今後、課題と感じている点があれば、それについても記入して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援対象者の増加に伴うフォロー体制 ・自立支援会議の運用の仕方 								
<p>(問7)</p> <p>現時点で課題と感じている点に対し、考えられている対応策等あれば記入して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援会議での検討者増に伴い、会議の開催を区内1所の基幹型在宅介護支援センターから3所で実施の方向。レアケース等もあり、サービスの判断基準が必要となる 								

② 転倒予防教室

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1)</p> <p>企画した「介護予防事業」の内容について記入して下さい。</p> <p>※事業の実施要綱、事業概要があれば添付して下さい。</p>	<p>記入項目例：事業名、事業目的、対象者、事業内容、開始時期、実施回数（週、月）、実施体制（スタッフ、研修）、事業予算・補助金、事業所管課、他課との連携（協力）体制 等</p> <p>目的 通所による機能訓練を通じて、高齢者の活動性を維持・拡大し、転倒・骨折を原因とする要介護状態に陥ることを予防する。</p> <p>対象 おおむね60歳以上で介護保険の認定が非該当または同等の身体状況の方で、転倒のリスクのある方</p> <p>訓練内容 転倒予防訓練・転倒予防に関する情報提供・通所者相互の交流・通所者及び家族への助言指導 訓練項目としては、①筋力増強訓練②バランス訓練③ストレッチ訓練④スポーツ 1 期間12回で週一回、三ヵ月間 定員10名程度 無料 送迎バス無</p> <p>開始時期 平成14年4月1日 ただし、平成13年度は試行として2回実施</p> <p>実施体制 区職員(P T・O T)、看護婦、嘱託医</p> <p>事業予算 平成13年度 66千円</p> <p>事業所管 保健福祉部高齢者在宅サービス課</p>
<p>(問2)</p> <p>住民に対して、どのように事業を周知しましたか？</p> <p>※周知するための広報資料の現物の写しなどがあれば添付して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援相談窓口からの周知 ・区内関係施設・行事・会議などでのチラシ配布 ・14年度の本格実施にあたっては、さらに関係者への周知 ・広報掲載など検討している

<p>(問3)</p> <p>「介護予防事業」の実施状況(実績)について記入して下さい。</p> <p>※貴市町村での実施状況(実績)をまとめた資料があれば添付して下さい。</p>	<p>記入項目例：事業名、事業費 年間実施回数 年間利用者数(実人数、延べ人数)</p> <p>※1年未満の事業の実施回数、利用者数については、実施期間内での実績を記入して下さい。</p> <p>平成13年度 2回試行 利用実人数 20人 平成14年度は 6回開催予定</p>
<p>(問4)</p> <p>現在実施している「介護予防事業」の実施状況を見て、うまくいっていると感じられるのはどのような点ですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護支援センター・自立支援会議との連携でハイリスクの対象者が選択されている ・積極的な筋力アップのプログラムで、参加者が自信を持つようになっている ・バスハイクなどのプログラムを加えることで、参加者のグループ化を促進し、終了後の地域でのつながりをつくっている。 ・転倒しても大丈夫、転倒しても寝たきりにむならないプロセスを積極的に説明し、活動的な生活を目指すようになっている
<p>(問5)</p> <p>うまく事業をすすめるために工夫している点などがあれば記入して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護支援センターとの連携 ・理学療法士がトレーニング方法や目的、トレーニングしている筋肉など詳しく説明している。 ・仲間作りを目指したプログラムを取り込む(バスハイク) ・「転倒」に対して、恐怖感をあおるのではなく、転倒しても骨折しても寝たきりなどの最悪の事態にはならない方法を考えている
<p>(問6)</p> <p>今後、課題と感じている点があれば、それについても記入して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・終了後のフォロー、他サービスとの連携
<p>(問7)</p> <p>現時点で課題と感じている点に対し、考えられている対応策等あれば記入して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・終了後一定期間は頻度を下げて集まる場を設定する ・自主グループを作ったり、通所のサービス(いきいきデイサービス、地域ささえ愛グループ)へつなげるなど、地域で活動を続けていく支援をする

③地域ささえ愛グループ支援事業

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1)</p> <p>企画した「介護予防事業」の内容について記入して下さい。</p> <p>※事業の実施要綱、事業概要があれば添付して下さい。</p>	<p>記入項目例：事業名、事業目的、対象者、事業内容、開始時期、実施回数（週、月）、実施体制（スタッフ、研修）、事業予算・補助金、事業所管課、他課との連携（協力）体制 等</p> <p>目的 加齢や病気などにより家に閉じこもりがちな高齢者等に対し、生きがいと社会参加の促進を図るため、区民が自主的にリハビリ活動を行っているグループを支援する。</p> <p>対象 閉じこもりがちな高齢者やその家族、ボランティアなど</p> <p>事業内容 区立の施設などを利用し、月1～4回、各グループごとに、体操・音楽・手芸など工夫を凝らした自由プログラムで運営してる。 区では、看護婦や理学療法士、レクリエーションリーダー、音楽療法指導員などのスタッフを派遣し、安心して楽しく参加できるように支援するとともに、バスハイク時等のバスの提供、有料施設の利用料助成などを行なっている。</p> <p>開始時期 平成7年7月</p> <p>事業予算 平成13年度 20156千円</p> <p>事業所管 保健福祉部高齢者在宅サービス課</p>
<p>(問2)</p> <p>住民に対して、どのように事業を周知しましたか？</p> <p>※周知するための広報資料の現物の写しなどがあれば添付して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・生活支援相談窓口からの周知 ・区内関係施設・行事・会議などでのガイドブック・チラシ配布 ・広報周知 ・インターネット掲載

<p>(問3)</p> <p>「介護予防事業」の実施状況(実績)について記入して下さい。</p> <p>※貴市町村での実施状況(実績)をまとめた資料があれば添付して下さい。</p>	<p>年間実施回数 年間利用者数(実人数、延べ人数)</p> <p>※1年未満の事業の実施回数、利用者数については、実施期間内での実績を記入して下さい。</p> <p>平成12年4月 51グループ 平成13年4月 54グループ</p>
<p>(問4)</p> <p>現在実施している「介護予防事業」の実施状況を見て、うまくいっていると感じられるのはどのような点ですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護にかかわった家族や高齢者自身が主体のグループなので、自分たちに合ったプログラムを自由に運営しており、生きがいづくりになっている。 ・介護の必要な方は介護者とともに参加するため、介護者同士の交流の場にもなっている。また、介護者がボランティアとして地域で活動するきっかけにもなっている。 ・訪問指導、機能訓練、そしてグループ活動と連携が取れており、とじこもりの予防に効果てきである。 ・看護婦などのスタッフが支援しているため、初めて参加する方でも、安心して通うことができる。
<p>(問5)</p> <p>うまく事業をすすめるために工夫している点などがあれば記入して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援スタッフには、グループの自主性引き出し、側面から支援するよう、お願いしている ・グループだけで課題をかかえこまないよう、情報誌を発行するなど、情報提供に努めている。
<p>(問6)</p> <p>今後、課題と感じている点があれば、それについても記入して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループによっては、ボランティアが少ないなど、課題があるため、グループ同士助け合えるようなネットワークづくりが必要 ・家にとじこもりがちな高齢者のさらなる参加促進
<p>(問7)</p> <p>現時点で課題と感じている点に対し、考えられている対応策等あれば記入して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ同士交流を図れるような機会の設置 ・グループでのPR活動、区でのPR活動をそれぞれ積極的に取り組んでいく。

6. 「介護予防事業」の評価について

※行政が主体となって実施する（直轄・委託）保健・福祉事業に対する評価について伺います。

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1)</p> <p>「事業ごとの評価」について伺います。</p> <p>①各事業メニューごとに評価を行っていますか？</p>	<p>(○) 行っている。→②へ</p> <p>() 行っていない。</p>
<p>②具体的な評価方法について記入して下さい。 (評価指標、評価時期、評価者等)</p> <p>※「事業ごとの評価」を行っている評価の資料があれば、添付して下さい。</p>	<p>別紙2 事務事業評価のとおり</p>
<p>(問2)</p> <p>「介護予防事業全体の評価」について伺います。</p> <p>①介護予防事業全体としての費用対効果をどのように評価していますか？ また、今後どのように評価したいと考えますか？</p>	<p>また、区では13年度健康都市指標を作成する予定であり、そのなかで介護予防についてもさらに細かく指標を掲げ、推進していく。</p>
<p>②各種の介護予防事業関連施策における定量的あるいは定性的な評価指標などがあれば記入して下さい。</p>	

氏名	生年月日 M. T. S. (男・女)	年 月 日 (歳)	
住所	杉並区 丁目 番 号	電話番号	
世帯構成	1 単身 2 高齢者夫婦 3 異世代同居 4 近隣に親族		
相談経過			
介護保険	・前回の認定結果 非該当・要支援・要介護() 年 月 日 ~ 年 月 日 ・前回介護保険サービス利用内容 ・今回介護保険申請あり() 年 月 日 申請() 申請なし		
○生活状況			
No.	質問項目	はい	いいえ
1	A-1 バスや電車を一人で外出できる	はい	いいえ
2	A-2 日用品や食料などの重い買い物ができる	はい	いいえ
3	A-3 自分で食事の仕度ができる	はい	いいえ
4	A-4 身の回りの片付けや掃除ができる	はい	いいえ
5	A-5 洗濯物を干したり、取りこむことができる	はい	いいえ
6	A-6 請求書の支払いができる	はい	いいえ
7	A-7 銀行や郵便局の預貯金の出し入れができる	はい	いいえ
8	A-8 新聞・雑誌・本を読んでいる	はい	いいえ
9	AB-1 趣味や楽しみ、好きでやっていることがある	はい	いいえ
10	AB-2 親戚や友人との行き来がある	はい	いいえ
11	AB-3 家族や友人の相対二のことがある	はい	いいえ
12	B-1 普段自分で健康だと思っている	はい	いいえ
13	B-2 転倒に対する不安はない	はい	いいえ
14	B-3 1週間に1度以上は外出する	はい	いいえ
15	B-4 外出時に杖などの補助具は必要ない	はい	いいえ
16	B-5 トイレにまにあう	はい	いいえ
17	B-6 歩くときに膝、足、腰の痛みがない	はい	いいえ
18	B-C-1 この1年の間に転んだことはない	はい	いいえ
19	C-1 片足で立ったままスカートやズボンをはける	はい	いいえ
20	C-2 横断歩道を青信号の間に渡りることができる	はい	いいえ
21	C-3 1kmぐらいの距離を歩き続けられる	はい	いいえ
22	C-4 水で濡れたタオルや雑巾をきつく絞ることができる	はい	いいえ
23	C-D-1 この1年間に入院したことがない	はい	いいえ
24	C-D-2 散歩や体操など定期的に体を動かしている	はい	いいえ
25	D-1 この6ヶ月間に体重が減った(5%以上)ということはない	はい	いいえ
26	D-2 主食や野菜(肉、魚)の食事は減っていない	はい	いいえ
27	D-3 ぐちびるやのどが乾く感じがしない	はい	いいえ
28	D-4 便秘はない	はい	いいえ
29	D-5 一日1回は家族や知人と一緒に食事をしている	はい	いいえ
30	D-6 歯や口の中、飲み込むことに問題がない	はい	いいえ

想定サービス	訪問指導	→
	福祉サービス	→
	健康体操・リハビリ教室	→
	いきいきデイ・地域ささえ愛グループ	→
	家事・付き添いサービス	→
	住宅改修	→

○質問票からのリスク判定	リスク	腎臓となる生活のようす
	生活機能	あり・なし
	閉じこもり	あり・なし
	転倒	あり・なし
	低栄養	あり・なし
家族状況	<家族関係図及び近隣関係図・年齢> *相談にきた人 *支援をしている人 支援内容・回数	
心身状況	視力の問題 無・有 聴力の問題 無・有 運動障害 無・有 食欲低下 無・有 意欲低下 無・有(軽・中・重) 睡眠の問題 無・有 義歯の問題 無・有 身長()cm 体重()kg	既往歴 現病歴
医療状況	疾患名 医療機関名・診療科目 主治医名 受診回数 服薬内容等	
住居環境	住居: 独立家屋・共同住宅(階) 浴室: 有・無 便所: 洋式・和式 段差の問題: 有・無 個所()	備考

介護予防・生活支援サービス評価票

氏名 _____ 訪問日()

2回目以降 (男・女) _____ 生年月日 M. T. S. _____ 年 _____ 月 _____ 日 (歳)

住所 杉並区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号 _____ 電話番号 _____

相談経過 _____

●前回の自立支援計画書の要旨(平成 年 月 日 自立支援会議)

●介護予防・生活支援サービス、その他サービスの利用状況

リハビリ教室 利用中・終了()

いきいきアソビ 利用中・終了()

住宅改修 改修中・終了()

家族訪問指導事業(保・リ・栄・費) 利用中・終了()

家事・付き添いサービス 利用中・終了()

配風サービス 利用中・終了()

地域ささええプロジェクト 利用中、グループ名()

その他 利用中()

その他 利用中()

No.	質問項目	回答	いいえ
1	A-1 バスや電車を一人で外出できる	はい	いいえ
2	A-2 日用品や食料などの重い買い物ができる	はい	いいえ
3	A-3 自分で食卓の仕度ができる	はい	いいえ
4	A-4 身の回りの片付けや掃除ができる	はい	いいえ
5	A-5 洗濯物を干したり、取りこむことができる	はい	いいえ
6	A-6 請求書の支払いができる	はい	いいえ
7	A-7 銀行や郵便局の預貯金の出し入れができる	はい	いいえ
8	A-8 新聞・雑誌・本を購読している	はい	いいえ
9	AB-1 趣味や楽しみ、好きでやっていることがある	はい	いいえ
10	AB-2 親戚や友人との行き来がある	はい	いいえ
11	AB-3 家族や友人の相談にのることができる	はい	いいえ
12	B-1 普段自分で健康だと思っている	はい	いいえ
13	B-2 転倒に対する不安はない	はい	いいえ
14	B-3 1週間に1度以上は外出する	はい	いいえ
15	B-4 外出時に杖などの補助具は必要ない	はい	いいえ
16	B-5 トイレに至らぬ	はい	いいえ
17	B-6 赤くきこえ、足、腫の痛みがない	はい	いいえ
18	BC-1 この1年の間に転んだことはない	はい	いいえ
19	C-1 片足で立ったままスカーフやズボンがはける	はい	いいえ
20	C-2 横断歩道を青信号の間に渡りきることができる	はい	いいえ
21	C-3 1kmぐらいの距離を歩き続けられる	はい	いいえ
22	C-4 水で濡れたタオルや雑巾を干すことができる	はい	いいえ
23	CD-1 この1年間に入院したことがない	はい	いいえ
24	CD-2 散歩や体健など定期的に体を動かしている	はい	いいえ
25	D-1 この6ヶ月間に体重が減った(5%以上)ことはない	はい	いいえ
26	D-2 主食や野菜(肉、魚)の食事は減っていない	はい	いいえ
27	D-3 ぐらひるやのどが乾く感じがしない	はい	いいえ
28	D-4 便秘はない	はい	いいえ
29	D-5 一日1回は家族や知人と一緒に食事している	はい	いいえ
30	D-6 膾や口の中、飲み込むことに問題がない	はい	いいえ

記録者(所属) _____ 氏名 _____

●リスクの改善度

領域 リスク 背景となる生活のようす

生活機能 前回のリスク あり・なし 悪化・変化なし・改善

閉じこもり 前回のリスク あり・なし 悪化・変化なし・改善

転倒 前回のリスク あり・なし 悪化・変化なし・改善

低栄養 前回のリスク あり・なし 悪化・変化なし・改善

●利用者の満足度

満足 ・ ぶつう ・ 不満

それぞれ理由

家族状況 <家族関係および近隣関係・年齢>

★相談にきた人 ☆支援を受けている人 支援内容・回数

心身状況

視力の問題 無 ・ 有

聴力の問題 無 ・ 有

運動障害 無 ・ 有

食欲低下 無 ・ 有 (軽・中・重)

意識低下 無 ・ 有

睡眠の問題 無 ・ 有

褥瘡の問題 無 ・ 有

身長()cm 体重()kg

既往歴 現病歴

医療状況

疾患名 医療機関名・診療科目 主治医名 受診回数 服薬内容等

住居環境

住居: 独立家庭・共同住宅(階)

浴室: 有・無

便所: 洋式・和式

段差の問題: 有・無 箇所()

備考

平成13年度 杉並区事務事業評価表

(確定)別紙2

評価対象事務事業名		地域リハビリ自主グループ支援		整理番号	229	細番号	7			
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91704	連絡先電話番号	1176			
係名		在宅支援係		上位施策名	NO					
予算事業名		機能訓練		コード	25720	高年齢者の地域社会での介護予防と自立支援	31			
事務事業の概要	事業開始年度	○昭和 ●平成 7年度		根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期	●無 ○有 平成 年度		(1)	老人保健法第12、18、20条					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 加齢や病気などにより家に閉じこもりがちな高齢者等に対し、自主的に心身機能の維持向上の活動を行なっているグループ。		(2)	老人保健事業実施要領					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	グループからの申請に基づき、スタッフの派遣、バスハイク等実施時のバスの提供、有料施設利用にかかる経費の助成などの支援を行なう。		(3)	杉並区地域リハビリテーション自主グループ支援事業実施要綱					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	加齢や病気などにより家に閉じこもりがちな高齢者等の生きがいと社会参加の場を確保する。		活動指標名(式)	(1) 年間活動延人数						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか	家に閉じこもりがちな高齢者等に活動の場を確保することで、できる限り要介護状態に陥ることないよう、また、要介護状態の方は要介護度の進行を防止し、高齢者が地域で生き生きとした生活が送れることに貢献している。		成果指標名(式)	(1) 活動参加率(活動参加者数÷グループ登録者数)						
				(2)						
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)	① 人	7938	8812	8335	10922	16900			
	活動指標(2)	② 団体	48	50	50	54	59	63		
	成果指標(1)	③ %	46	50		65				
	成果指標(2)	④								
総事業費、コスト把握	事業費	⑤ 千円	17,897	14,449	13,121	11,694	20,156			
	職員数(正規 非常勤)	⑥ 人	3.78	3.31	2.00	2.19	2.60	特記事項 平成12年度に補助金の助成内容を、運営費補助から有料施設の施設費補助のみに見直すと同時に、機能訓練の通所バスを地域リハビリ自主グループに活用できるように、契約内容を変更した。また、各保健センターの常勤保健婦の支援も、側面的な支援に見直し。13年度からは、高齢者在宅サービス課の保健婦が支援している。		
	人件費	職員分(超勤分含む)	⑦ 千円	34,296	30,032	18,146	19,870		23,590	
		非常勤職員分	⑧ 千円	0	0	0	0		0	
		総事業費⑤+⑦+⑧	⑨ 千円	52,193	44,481	31,267	31,564		43,746	
		単位あたりコスト⑨÷①	⑩ 円	6,575	5,048	3,751	2,890		2,589	
	財源	受益者負担分	⑪ 千円							
		国・都からの支出金	⑫ 千円	5,280	5,206	5,226	7,466		10,032	
		その他特定財源	⑬ 千円							
		特定財源計⑪+⑫+⑬	⑭ 千円	5,280	5,206	5,226	7,466		10,032	
	差引:一般財源⑨-⑭	⑮ 千円	46,913	39,275	26,041	24,098	33,714			
	受益者負担比率⑪÷⑨	⑯ %								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成7年度に、通所機能訓練終了後などの加齢や疾病等により心身機能の低下した区民を主体とした団体の自主的な活動に対して支援を開始。介護保険制度が実施された平成12年度は、本事業を介護予防事業と位置付け、支援内容を見直すとともに、所管を保健衛生部から高齢者福祉部に移管した。平成13年度からは、地域ささえ愛グループと改名し、事業を実施している。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	活動の場を定期的に確保できるようにしてほしい。ボランティアを紹介してほしい。開催場所までの交通手段を確保してほしい。グループ活動日にバスハイクのバスを提供してほしい。区民にグループのPRをしてほしい。支援スタッフを増やしてほしい。								
	今後の予測	介護保険サービスや区の実施するサービスとは別に利用できるサービスとして事業を展開していく。特に、参加している高齢者等が主体的に運営しているため、生きがい活動としての役割は大きい。また、家族等とともに参加することも多く、家族等の交流の場でもあり、地域の高齢者のネットワークの拠点となることが期待される。								

平成13年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の12年度達成率%	131.0	活動指標(2)の12年度達成率%	108.0	12年度予算執行率%	89.1										
活動の計画達成状況、未達の理由	平成12年度に、対象者を要介護者（心身機能の低下した高齢者）から介護保険非該当の高齢者に広げたため、利用者数は増加した。ただ、介護保険要介護状態の方は介護保険サービスに移行したため、減少している。															
前年度の改革案の取り組み状況（13年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記）	12年度から常勤保健婦等の直接的な支援がなくなったことによる医療スタッフ、さらには、生きがい活動としてのプログラムを取り入れるためのレクリエーション・リーダーや音楽療法指導員など、スタッフの充実を図った。また、運営費の補助金を廃止したことに伴い、グループへの支給品（緊急用品等）やPR軽費を新設した。															
結果評価（目的妥当性・有効性・効率性）	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由→)	理由：高齢者等を主体とした区民による自主的な介護予防活動が杉並区全域に点在しており、家に閉じこもりがちな高齢者の貴重な社会参加の場となっており、施策に非常に貢献している。														
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由→)	理由：老人保健法に規定されており、かつ地域に密着した区が支援するのが適切である。														
	(3) ①成果を向上させることができますか できる(②へ↓) ②成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案へ↓ その他	自立度アップ支援事業の一環として、医療機関や訪問指導・機能訓練事業等と連携し、潜在的な対象者の利用を促進していく。また、行政さらにはグループ間等の情報交換を活発にすることにより、活動の幅を広げていく。														
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由→)	理由：老人保健法第47条、第51条及び厚生省告示により、受益者負担は求められない。														
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由→)	理由：12年度から対象者の見直しを実施済み。														
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由→)	理由：12年度補助金制度を見直し、具体的な支援に転換した。														
今後の事業のあり方	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合															
改革案	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたち)E 区民自身による介護予防活動であり、介護保険非該当・該当の区別を問わず広く高齢者が地域で社会参加できる場として、グループ数を拡大していく。活動場所までは参加者自身でできることが原則であり、地域のバランスを確保しながら拡大するとともに、参加者が主役であることに配慮しながら支援体制を強化していく。 平成13年度 59カ所 以後毎年2カ所増 (実計) また、グループ利用人数の拡大するため、関係機関等への周知を図る。															
	(2) 新たな経費の増減(説明と概算) 1グループ増に係る経費 約30万円 14年度新規2グループ増で 約60万円			(3) 期待される成果 高齢者等が社会参加できる環境を整えることにより、より重度の要支援・要介護状態への移行を防止でき、介護保険サービスの利用量を軽減することが見込まれる。また、グループが地域の高齢者や高齢者を支える人たちのネットワークづくりの拠点となっていくことが期待される。												
				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">増</td></tr> <tr><td>事業費(千円)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">600</td></tr> <tr><td>職員数(人)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;"> </td></tr> <tr><td>減</td></tr> <tr><td>事業費(千円)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;"> </td></tr> <tr><td>職員数(人)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;"> </td></tr> </table>			増	事業費(千円)	600	職員数(人)		減	事業費(千円)		職員数(人)	
	増															
事業費(千円)																
600																
職員数(人)																
減																
事業費(千円)																
職員数(人)																
(4) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 活動を定着させるには、活動の場の確保が課題。区立施設に限らず、広く提供施設をさがしていく。																